

メモリードライシロップ 2%

【この薬は？】

販売名	メモリードライシロップ 2% MEMARY DRY SYRUP 2%
一般名	メマンチン塩酸塩 Memantine Hydrochloride
含有量	1g 中 メマンチン塩酸塩 20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アルツハイマー型認知症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は NMDA (N-メチル-D-アスパラギン酸) 受容体チャネル阻害作用により、アルツハイマー型認知症が関与しているとされるグルタミン酸系神経の機能異常を抑制します。
- ・次の目的で処方されます。

中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

- ・この薬は体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にメマリーに含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。飲み始める前に医師または薬剤師にその旨を教えてください。
 - ・過去にてんかんまたはけいれん発作をおこしたことがある人
 - ・尿細管性アシドーシス、重い尿路感染などのある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に高度の障害のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常成人の飲む量および回数は次のとおりです。

1日量	5mg から開始し、1週間に5mg ずつ増量します。 維持量は20mg です。
飲む回数	1日1回

- ・腎臓に高度の障害（クレアチニンクリアランス値：30mL/min 未満）のある人の維持量は1日10mg です。
- ・各1日量に対してドライシロップとして飲む量は次のとおりです。

1日量	ドライシロップ
5mg	0.25g
10mg	0.5g
15mg	0.75g
20mg	1.0g

●どのように飲むか？

- ・コップ1杯程度の水またはぬるま湯に懸濁し速やかに飲んでください。
- ・溶かさずに飲む場合にはコップ1杯程度の水といっしょに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

不穏（落ち着きがない）、幻視、けいれん、傾眠（眠気でぼんやりする）、昏迷（刺激を与えられたときだけ反応する）、意識消失などの症状があらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用し始めたときに、めまいや傾眠などがあらわれることがあるので、これらの症状があらわれた場合は医師に相談してください。また、これらの症状により転倒することなどがありますので、注意してください。
- ・この薬によるめまい、傾眠や、アルツハイマー型認知症でも自動車の運転等の機械操作能力が低下することがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作はしないでください。
- ・妊娠または妊娠している可能性のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガク震える
失神、意識消失 しっしん、いしきしょうしつ	短時間、意識を失い倒れる、意識の消失
精神症状 せいしんしょうじょう	感情が激しくたかぶった状態、落ち着きがない、いらいら、興奮、不安、根拠のない思い込み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、非現実的なことを強く確信する、意識が乱れる、考えがまとまらない
肝機能障害、黄疸 かんきのうしょうがい、おうだん	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、白目が黄色くなる、吐き気、食欲不振、体がかゆくなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のしびれ、手足のこわばり、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
完全房室ブロック、高度な洞徐脈等の徐脈性不整脈 かんぜんぼうしつぷろっく、こうどなどうじょみやくとうのじょみやくせいふせいみやく	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ、脈がとぶ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	顔や手足の筋肉がぴくつく、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、脱力感、体がかゆくなる
頭部	一時的にボーっとする、短時間、意識を失い倒れる、意識の消失、意識の低下、意識が乱れる、考えがまとまらない、めまい、気を失う、立ちくらみ
眼	白目が黄色くなる
皮膚	皮膚が黄色くなる
口や喉	吐き気
胸部	息切れ
腹部	食欲不振
手・足	手足のしびれ、手足のこわばり、手足の筋肉が硬直しガクガク震える、脈が遅くなる、脈がとぶ
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる
その他	感情が激しくたかぶった状態、落ち着きがない、いらいら、興奮、不安、根拠のない思い込み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、非現実的なことを強く確信する

【この薬の形は？】

形状	<p>ドライシロップ剤</p> 
	
色	白色～微黄白色

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	メマンチン塩酸塩
添加物	D-マンニトール、カルメロースカルシウム、乾燥メタクリル酸コポリマーLD、ラウリル硫酸ナトリウム、ポリソルベート80、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、ヒドロキシプロピルセルロース、軽質無水ケイ酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：第一三共株式会社 (<https://www.daiichisankyo.co.jp>)

製品情報センター

電話：0120-693-132

受付時間：9時00分～17時30分

（土、日、祝日、当社休日を除く）